

# 政治部報告

## 政治部一般方針

もとより労働同盟の既定方針に従ふものであるが、労働組合は其本来の経済的使命の達成に主力を注ぎ、これが延長として政治行動に進むべきことを特に高唱する。尚加盟組合支部は、屋賃、地代、電燈料水道料の値下げ運動等の所謂日常闘争にも常に中心となつて活動して居る。

## 加盟組合の各種議員一覽表

〈市會〉 (三名)	神奈川縣川崎市	大矢 幸男	セメント労働組合
	同	山良太一郎	神奈川鐵工組合
	同	本多 松郎	同
△町會〉 (十名)	東京府下千住町	茂 澤 清	東京革工組合
	同	大島町 熊本 虎藏	東京鐵工組合
	同	岩淵町 山田 正信	同
	同	大崎町 成山 三郎	同
	同	目黒町 熊坂 清一	同

同	破町 大久保 増太郎	同
同	入新井町 西川 彌作	同
同	埼玉縣草加町 山田 昌五郎	埼玉労働組合
同	栃木縣佐野町 谷貝 徳四郎	關東釀造労働組合
同	群馬縣藤岡町 小林 寅松	同
△村會〉 (七名)	東京府下志村 島村 佐吉	中央合同労働組合
同	埼玉縣横曾根村 奥ノ本 芳三	東京鐵工組合
同	同 南平柳村 田中 正義	東京鐵工組合
同	同 池田治郎吉	同
同	同 藤岡縣清水村 佐藤 浦作	紡織労働組合
同	同 宮本 光太郎	同
△東京區會議員〉 (四名)	中山 三三	中央合同労働組合
同	同 安川 匡美	同
同	同 雲野 彌三郎	東京鐵工組合
同	同 田中 芳太郎	同
同	同 麻布 區	同

# 調査部報告

本年度に於いて行ひたる主なる調査は、

- (イ)消費組合、生産組合の事業内容
- (ロ)共済事業の内容
- (ハ)團體協約運用情況
- (ニ)教育運動に關する調査

## 婦人部報告

到らざるなき資本の攻勢は、産業合理化の魔手の下に、高率貸銀の男子労働者を驅逐して、低賃銀の婦人労働者を動員し、その従順性と、抵抗力の薄弱性の上に、労働の強化をし、利潤の増大を策しつゝある。この現時の不況の嵐は婦人労働者の上にとこより一層の犠牲を課しつゝある時、我關東同盟婦人部は、日常の利益擁護闘争に、組織に教育に、不斷の活動をつづけ、振はざる他無産労働婦人運動の中に一脈の氣を吐いた。

先づ主たる争議に参加したものは、群馬交通労働組合、

- (ホ)労働争議に關聯する各種の調査
- (ヘ)産業及會社内容に關する調査

新任調査部員  
山崎 廣 西木 高  
高川 義太郎

セメント労働組合、中央合同セメント工第二支部、紡織平塚支部、中央合同瀧の川支部等で、婦人労働者の闘争力の果敢を示して、いづれも勝利した。

組織方面に於いては、婦人労働者自らの力をもつて戦はれた記録のものに、紡織吉福支部の再建あり、その他神奈川電気労働組合婦人部の充實、出版、製本、製菓、製絲製材各産業への進出等、組織力の生長を記した。

教育方面に於いては、神奈川労働學校(紡織川崎支部、神奈川電気労働組合より生徒を派遣す)移動民衆婦人學校